

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

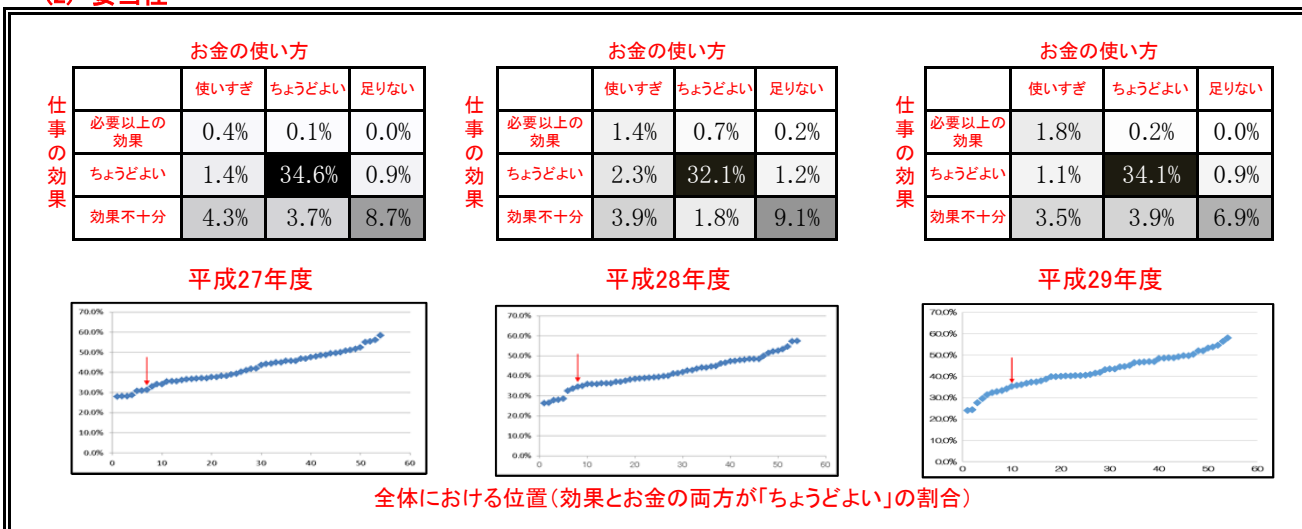
総合計画上の位置付け	分野	勤労者福祉	施策の方針	働く環境の充実
目標とすべきまちの姿	勤労者の福利厚生に対する満足度は向上し、健康的でこころ豊かな生活を送っています。市民の雇用や労働に対しての不満やストレスは本市の相談・カウンセリングにより対応されています。また、勤労者は余暇を活用して生涯学習などを生活に取り込んでいます。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成27年度	39.9%	平成28年度	42.3%	平成29年度	43.1%	(回答者全体に占める割合)
-----------------------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	---------------

(2) 妥当性



(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
平成29年度	12.7%	34.6%	4.6%	48.2%
平成28年度	14.0%	33.2%	6.0%	46.7%
平成27年度	16.0%	33.5%	4.7%	45.8%

2 内部評価

(1) 平成29年度の目標

①市内に居住、勤務している勤労者の生活安定と福利厚生増進のため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に過不足なく資金を預託していく。(市民-18)
②中小企業従業員の福利厚生の充実を図るため、藤沢市、茅ヶ崎市とともに湘南勤労者福祉サービスセンターと協定を締結し、広域化を継続して安定した会員数を確保することにより、湘南勤労者福祉サービスセンターの安定した運営の持続を図る。そのために、会員加入促進事業の支援として神奈川県市町村振興協会の市町村広域行政助成事業助成金を藤沢市、茅ヶ崎市とともに活用するとともに、計画的な加入促進事業の検討を湘南勤労者福祉サービスセンターとともに取り組む。(市民-19)

(2) 目標とすべきまちの姿と平成29年度の目標との関連性

①勤労者生活資金融資の実施は、必要とする耐久消費財の購入や教育費、住宅改築費に対応しており勤労者の福利厚生に対する満足度や健康的でこころ豊かな生活に寄与する。(市民-18)
②湘南勤労者福祉サービスセンターは、中小企業勤労者の福利厚生や健康診断、労働相談、生涯学習などに資するサービスを提供しており、当センターの安定した運営の継続は勤労者の健康的でこころ豊かな生活に寄与する。(市民-19)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		法定受託事務	今後の方向性	
整理番号	事業名	平成28年度	平成29年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度		事業内容	予算規模
市民-18	勤労者福利厚生事業	30,744	35,722	38,813	39,066	0.4	0.4		b	B
市民-19	勤労者福祉支援事業	24,450	23,656	25,202	24,216	0.2	0.2		b	C

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】

- ①中央労働金庫に資金を預託して勤労者生活資金融資を実施し、市内に居住、勤務している勤労者の生活安定と福利厚生増進を図った。(市民-18)
- ②中小企業従業員の福利厚生の充実が継続できるよう、湘南勤労者福祉サービスセンターの運営支援のため負担金を支出した。また、湘南勤労者福祉サービスセンターの安定した運営の資源となる新規会員獲得に向け、神奈川県市町村振興協会が実施する「市町村広域行政助成事業」助成金を活用して支援に努めた。(市民-19)

【実施できなかった事業とその理由等】

(5) 平成29年度の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切	□ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切	□ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切	□ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切	□ 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

- ・勤労者生活資金融資の平成29年度実績は、増改築費1件(100万円)、冠婚葬祭費1件(300万円)、耐久消費財購入費6件(6,390万円)であり勤労者の生活安定と福利厚生の増進を図ることが出来た。
- ・また、湘南勤労者福祉サービスセンターによる鎌倉市の加入者に対する福利厚生事業平成29年度実績(平成30年2月1日現在)は、期首加入事業所数465所、加入人数3,006人に対して、慶弔給付金支給数518件、健康診断・人間ドック助成数111件、健康維持増進事業参加者126人、手作味噌教室などのセミナー参加者92人、ジャガイモ掘りなどのレクリエーション参加人数572人、観劇・観戦割引幹旋3,496件、他6事業合計6,365人がサービスを受けており勤労者の福利厚生の増進を図ることが出来た。
- ・さらに、湘南勤労者福祉サービスセンターの安定した運営の資源となる新規会員獲得に向け、神奈川県市町村振興協会が実施する「市町村広域行政助成事業」助成金を活用して支援に努めた結果、平成29年度実績(平成30年2月1日現在)として、期首加入事業所数465所、加入人数3,006人が、加入事業所数467所、加入人数3,006人に増加した。

(6) 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性

- ・市民意識調査結果では、「もっと力を入れるべき」と「現状のままで良い」を合わせると47.3%と約5割の市民が必要な施策と意識していることが伺えるため、今後も市内の中小企業従業員の生活安定と福利厚生増進のため事業を継続して実施していく。

(7) 平成30年度の目標

- ①市内に居住、勤務している勤労者の生活安定と福利厚生増進のため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に過不足なく資金を預託していく。(市民-18)
- ②中小企業従業員の福利厚生の充実を図るため、藤沢市、茅ヶ崎市とともに湘南勤労者福祉サービスセンターと協定を締結し、広域化を継続して安定した会員数を確保することにより、湘南勤労者福祉サービスセンターの安定した運営の持続を図る。(市民-19)
- (なお、神奈川県市町村振興協会の市町村広域行政助成事業助成金は、5年間の交付申請期間満了により29年度で終了。)

(8) 目標とすべきまちの姿と平成30年度の目標との関連性

- ①勤労者生活資金融資の実施は、必要とする耐久消費財の購入や教育費、住宅改築費に対応しており勤労者の福利厚生の満足度を高め、健康的でこころ豊かな生活につながる。(市民-18)
- ②湘南勤労者福祉サービスセンターは、中小企業勤労者の福利厚生や健康診断、労働相談、生涯学習などに資するサービスを提供しており当センターの安定した運営の継続は勤労者の健康的でこころ豊かな生活に寄与する。(市民-19)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	市民-18	事業名	勤労者福利厚生事業								
指標の内容	勤労者生活資金融資の利用件数						単位	件	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由 勤労者の生活資金融資により勤労者の生活安定に資するため。	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値	24	24	24	24	24	24				
	実績値	27	24	20	8						
	達成率	112.5%	100.0%	83.3%	33.3%						

整理番号	市民-19	事業名	勤労者福祉支援事業								
指標の内容	湘南勤労者福祉サービスセンターの会員数(鎌倉市内事業所分)						単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由 中小企業従業員の福利厚生の充実に資するため。	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値	2,800	2,800	3,000	3,000	3,000	3,000				
	実績値	2,634	2,758	2,775	3,006						
	達成率	94.1%	98.5%	92.5%	100.2%						

参考 前年度外部評価結果への対応

鎌倉市民評価委員会からの指摘	
課題	指摘への対応、コメント等
・「働く環境の充実」を実現させるための実質的な取組は「湘南勤労者福祉サービスセンター」に一任しているという印象をもった。外部委託自体は悪いとは思わないが、センターの活動・取組は具体的にない。 ・市税を中小企業の福利厚生の充実に充てた以上、その満足度、効果を市が把握していることが求められる。 ・引き続き、中小企業の勤労者の生活安定、福利厚生の充実に図るため、湘南勤労者福祉サービスセンターに対して新規会員獲得に向けた支援に努めていく必要がある。 ・「中央労働金庫に資金を預託して勤労者生活資金融資を実施し、市内に居住、勤務している勤労者の生活安定と福利厚生増進を図った。(市民-18)」とあるが、融資は借金であり、借金による対応はあくまで一時的なものでしか無いため、「勤労者の生活安定」と「福利厚生増進」については新たな取組が必要である。 ・労働動態調査の実施など過去からのデータの蓄積がされていることは、今後も行政資料として活かしていくべきである。 ・「目標とすべきまちの姿」に掲げられている「市民の雇用や労働に対しての不満やストレスは本市の相談・カウンセリングにより対応されています。」「勤労者は余暇を活用して生涯学習などを生活に取り込んでいます。」について、年度目標や取組はあるのか。	湘南勤労者福祉サービスセンターは、中小企業従業員の福利厚生の充実に図ることを目的としたサービスを提供している。 平成29年度に、湘南勤労者福祉サービスセンターの制度普及啓発事業として「既存会員へのニーズ調査」が行われ、その結果は「概ね満足」との報告書を受理している。 神奈川県市町村振興協会が実施する「市町村広域行政助成事業」助成金を活用して支援に努めた。 融資による支援は一時的なものではあるが、有効な支援策と認識しており、また、一定のニーズもあることから、今後も継続していく必要がある。 労働動態調査を継続して実施し、ホームページ等で公開している。 〈施策の方針:雇用支援の充実〉により、労働相談やメンタルヘルス相談など、支援を必要としている市民が、支援を必要としているときに、迅速に対応できる支援体制を整える取り組みをしている。

提言

・「勤労者生活資金融資」(利用者20名)は低利の消費者金融に見える。福祉的理由であれば社会福祉協議会「生活福祉資金融資制度」ある。耐久消費財購入等に自治体が低利融資を行うべきなのか検討してほしい。

・「湘南勤労者サービスセンター」の加入会員数2,775名(加入事業者数:460)の実績を指標としているが、対象の全事業者数に対する加入進捗率を取り上げるべきである。

・今後の方向性として「市内の企業が求めている人材と、市内の求職者とのマッチングを促進するため、平成29年度は市内の企業が求めている人材のニーズ調査を実施し、その結果を基に平成30年度以降の雇用支援事業の個別の事業を検討する。」としているので、次年度の評価シートには調査結果に基づく検討結果を明記して頂きたい。

・「今後は、市の負担金が減少しても安定した湘南勤労者福祉サービスセンターの運営が持続でき、中小企業従業員の福利厚生の実現が継続できるよう、更なる会員数の増加を目指した取組について藤沢市、茅ヶ崎市とともに支援していく。」としている。会員数が何人以上になれば負担金がどの位減少するのかを明確にして目標を立て、指標として設定すべき。

質問

「湘南勤労者サービスセンター」に対する支援金額はいかほどか。他自治体居住者を含めての支援か。会員に提供している「福利厚生サービス」の内容は何か。

提言に対するコメント等(総論)

・大企業のような独自の貸付制度をもたない企業の勤労者を支援する制度は、必要なことと認識している。
・当センターは中小企業(従業員1人～300人)勤労者の福利厚生を対象としている。全ての中小企業の従業者数を正確に把握することは難しい。
・平成29年度に実施した「市内企業ニーズ調査」の結果を資料として、平成30年度はハローワークの協力を得て「市内の企業就職面接会」を行う。
・会員数の増加は、充実したサービスの提供につながり、サービスの質の向上は更なる会員の増加につながることから、安定した運営の継続につながると認識している。
ただし、会員数と負担金額が比例するものではないため、会員数による負担金減少を指標とすることは難しい。

質問に対する回答

平成28年度決算額24,450千円。経済センサス基礎調査の従業者数を基にした負担割合(鎌倉市24.8%、藤沢市56.4%、茅ヶ崎市18.8%)

鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市の事業所で常時雇用する従業員300名以下の事業主と従業員を対象としている。中小企業が独自に行うことが難しい福利厚生事業を広域行政区域で行い、事業主は福利厚生の充実と企業の発展、永年勤続の奨励、従業員の確保、税制面の優遇等のメリットがあり、勤労者は各種慶弔給付の支給、低廉での福利厚生事業の参加、割引施設の利用等のメリットがある。

福利厚生サービスの内容は、結婚、出産、入学祝金、傷病見舞金、死亡弔慰金等の各種慶弔金及び永年勤続報奨金の給付、火災共済等あっせん事業、健康診断、人間ドックへの助成、ピラティス教室やハイキングの実施、スポーツクラブの法人会員利用、医療保障セミナーや年金セミナー、介護セミナー、中小企業退職金共済、小規模企業共済のあっせん、各種セミナー・教室(ガーデニング教室など)、日帰りバスツアー、各種スポーツ大会、とうもろこし狩り・じゃがいも掘り体験、観劇・観戦入場券割引あっせん、スポーツ観戦入場券のあっせん、映画チケットのあっせん、各種文化展チケットあっせん、テーマパーク・果樹園等割引利用、東京ディズニーリゾート特別利用券、トマトなどの果樹園、温泉入浴券及び水族館入館券などの割引、食事チケット割引あっせん、有名ホテルランチチケットなどの食事券あっせん、各種契約保養施設等の利用者に対し宿泊料の一部助成、公共施設利用補助県営プール等の公共施設利用者に対して利用料の一部助成、一般社団法人全国中小企業勤労者福祉サービスセンターや県内サービスセンター等と連携し、「地引網」「ゴルフコンペ」「婚活事業」などのレクリエーション事業など。

鎌倉市民評価委員会の評価

《評価できるところ》

- ・湘南勤労者福祉サービスセンターを支援している鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市が共同で神奈川県市町村振興会の助成金を利用することで、サービスセンターへ会員獲得のための事業を実施したことで、新規会員増加につながった。
- ・湘南勤労者福祉サービスセンターによる鎌倉市の加入者に対する福利厚生事業平成29年度実績は、6事業合計6,365人がサービスを受けており勤労者の福利厚生の増進を図っている。

評価の内訳						⇒	委員会の評価
取組	↗	0	↘	0	→	7	→
効果	○	0	△	1	—	6	—

《課題》

- ・中小企業の勤労者の生活安定、福利厚生の充実を図るため、湘南勤労者福祉サービスセンターに対して新規会員獲得に向けた支援に努めていく必要がある。
- ・会員にとって魅力的なコンテンツを提供する必要がある。
- ・「鎌倉市民評価委員会からの指摘」について、「資料を活かしていくべき」との意見に対して「ホームページで公開している」（公開してる事は活かしているとは言わない）、「勤労者生活資金融資は一時的なものであるため、新たな取組が必要である」に対して「今後も継続していく」等、意見の内容が理解されていない。

《提言》

- ・労働動態調査の実施など過去からのデータの蓄積がされていることは、今後も行政資料として活かしていくべき。
- ・既存会員へのニーズ調査の結果、「おおむね満足」という結果が出ているということであれば、「目標とすべきまちの姿」に対して、効果が良好ということになる。次年度の目標が今年度と差異がないものではなく、さらに踏み込んだものであるべきではないだろうか。
- ・「指標」の「勤労者生活資金融資の利用件数」について、設定理由を「勤労者の生活資金融資により勤労者の生活安定に資するため。」としているが、借金をさせる事でなぜ生活が安定するのか理解できない。実績を減らすことが重要。
- ・ニーズ調査を行っているのであれば、調査結果の満足度を「指標」とすべき。

《質問》

- ・「指標」の「湘南勤労者福祉サービスセンターの会員数（鎌倉市内事業所分）」について、目標値はどのような根拠で設定しているのか？なぜ達成してもそのままなのか？